

『もっと知りたい、友だちのこと』

3年

—肯定的な態度と言葉で、友達に向き合える基礎づくり—

■ 設定の趣旨

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で学校のスタートが遅くなりました。豊かな言語活動を展開したい3年生も、教材の実施について年間の見通しを変更せざるを得ませんでした。おまけにコミュニケーションの場も減ってきました。伝えたいことをきちんと伝えることができるようにしていく力を付けることが、急務となったと感じています。

本教材は、言葉の質や、話したり聞いたりすることのすべての学習の基本的な学びと態度を、より肯定的に高めるのいうってつけの教材だと考えます。本校の3学年の児童を育てる核にしたいと、年度当初から目を付けて、3学年の先生たちと話し合いました。児童の意欲や、主体的な「話す、聞く」態度を、言語環境を整えながら育てていくことで、児童の実態を高めたい。そのためには、まず、日常的に国語科の授業を通して児童を育てることが必要だと考えていたからです。3年生児童の成長の指導の軸を本教材にして、学年経営にも学級経営にも活かすということです。他教科の中でも、本教材を十分に活かすということです。そこで、学習の第1時間目と第2時間目に、特別活動を組み入れて国語とのコラボで、肯定的な態度や言葉を身に付けていくことを特に意識させて、本単元の学習を進めることにしました。

学習の始めは「めざそう すてきな3年生」というテーマで、今年度のゴールイメージを話合います。その辺りが特別活動の役割で、国語の学習で、より具体化した「めざす すがた」をつかむまでコラボの学習を進めます。また、学習の中で、児童の意思表示や、ちょっとした自己評価、考えの傾向を視覚的につかむために、実際に、学校の学級会の授業で使用している「賛成カード」（通称 ニコちゃん）を使用しました。実は、「ニコちゃん」は、国語でも、他の学習でも、よく使用するので、すんなりとコラボも受け入れ、肯定的な態度を形成するのに、一役買ってくれています。

■ 指導目標

- 相手を見て話したり聞いたりするとともに、話の中心的な部分において自分の感じたことを強く伝えるために、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意することに気付くことができる。

【知識及び理解】

- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉え、自分の考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- 受容的、共感的に友達の話を聞いたり、肯定的な言葉や態度で意欲的に質問したりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

■ 指導計画（7時間）（学級活動1 + 国語6）

次	時	学習活動	指導上の留意点と評価規準・評価方法
第1次	1	<p>[学級活動 2/3, 国語 1/3]</p> <p>○オリエンテーション「みんなで 目ざそうすてきな3年生」のテーマで、新学年の目指す姿について話し合う。</p> <p>○「話す・聞く」ことは国語で学習することを理解する。</p> <p>・学習計画を、話し合って立てる。</p>	<p>・本時が、目指す姿を獲得していくスタートの時間になることを意識させ、意欲をもてるようにする。</p> <p>・お互いが認め合う気持ちで理解し合うためには、態度やマナーだけでなく、「聞き方や話し方、しつもの仕方」の国語の力も必要になることを理解することができるようにする。</p>
	2	<p>[学級活動 1/3, 国語 2/3]</p> <p>○国語で目指す「話す・聞く」姿について話し合い、学習の見通しをもつ。</p> <p>○「知りたいことについて、しつもんしよう」の解説や教師による例文を聞き、学習について知る。</p>	<p>・「学習の進め方」(P40 挿絵) を使って、話し合いを通して自分が目指す姿を考えることができるようにする。</p> <p>・話し方や聞き方の態度と共に、質問の仕方もある必要があり、気づくことができるようにする。</p> <p>【思・判・表】ノート</p> <p>○ 国語で目指す姿を考えているかを確認する。</p>
第2次	3	<p>○友達に知らせたいことのおおよそを考えて内容を決め、メモを書いて発表の練習をする。</p>	<p>・前時に続き「例文」を聞いて、知らせたいことを決め、発表の練習ができるようにする。</p> <p>・メモの書き方を、視覚的に示して、全員が書けるようにする。</p> <p>【思・判・表】ワークシート</p> <p>○ 友達に知らせたいことを考え、簡潔に書くことができているかを確認する。</p>
	4	<p>○質問や話の聞き方について知る。</p> <p>・どんな質問をどんなときにするのか、これまでの学習を思い出して整理する。</p> <p>・質問の仕方の練習をする。</p>	<p>・どんな質問を、どんな時にするのか。話の中心に気を付けて聞く、話す人の方を見るなど（目指す姿と共通）をとらえられるようにする。</p>

	5 ・ 6	○3, 4人のグループになって、話をしたり、質問したりする。 ・聞き手は、話を聞いた後に、質問のメモを書く。 ・質問タイムで質問をしたり、答えたりする。	・身振り手振りで、相手に分かりやすく伝えることができるようにする。 ・第1時, 2時で学習した目指す姿を確認し合って、友達の話をつれづれでうなずいていくことができるようにする。 【思・判・表】観察, ワークシート ○目指す姿で話したり、聞いたりすることができているかを確認する。 ○聞きたいことを質問カードに書いて、それを基に質問できているかを確認する。
第3次	7	○友達の話聞いて質問したり、答えたりすることについて心に残った事や感想を伝え合う。 ・「ふりかえろう」(教科書P43)を使い、質問することのよさ等を出し合い、これから、いろいろな場面で使っていくことを確認する。	・中心を聞き取って質問することのよさや、話をしたり答えたりすることのよさを出し合って、次からの実践の意欲を高めることができるようにする。 【思・判・表】観察, ワークシート ○質問するときに使った言葉、気を付けた事、よさについてワークシートに書くことができているかを確認する。 ○目指す姿で積極的に質問したり、話を聞いたりしようとしているかを確認する。

指導のポイント

〈第 2 時の扱い〉

学習活動	教師の働きかけ
1 前時の学習を振り返り、国語の「話す・聞く」で、学習することをつかむ。 ○前時の学習の「目ざそう すてきな3年生」で出し合って決めた、国語の学習でがんばることを確かめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(例) 話をちゃんと聞く・わかるように話す・話している人の目を見る・友だちを大切に する・人の意見をひていしない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 国語の学習の「話す・聞く」のめあてを考えよう</div>	※実際の授業はTTで行った。T1が授業を進め、T2は学習活動2で登場した。 ○前時に決めた「国語で 目ざすがた」は、自分達の言葉でつくることができたことを称賛し、意欲を高める。 ○国語の学習で頑張ることには、肯定的な要素があることを知らせ、学習への安心感をもたせる。
○「学習の進め方」(P4)を参考にして、「読む・書く・聞く・話す」活動のところを中心に気付いたことを出し合う。	○「学習の進め方」(P4挿絵)の2段目を使って、「話し手・聞き手」に視点を向け、学習の仕方について気づいたことを十分に出し合わせる。

《話し手》(例)

相手を見て話す，身ぶり手ぶり，口を大きく開けて，笑顔で話している

《聞き手》(例)

話す人を見ている，体を向けている，うなづくようにして聞いている，(鉛筆をもって)聞いたことを書くような様子，笑顔で聞いている

- ・自分が良いと思った学習の様子に「賛成」カードを貼る。(学級会で実際に使用している賛成意見用カード)
- ・良いと考えた理由を述べ合い，「目ざす すがた」を決める。

- ・賛成や付け足し，他の考えも引き出して，「話す・聞く」学習についての意欲をもたせる。(左の例は，実際の授業で児童が発表した内容)
- ・教師は，肯定的で受容的な態度や言葉と笑顔で対応し，児童に「先生も，わたしたちと一緒に，すてきな3年生を目指している。」というメッセージを伝えられるようにする。
- ・「話す・聞く」学習で目指す姿を決めるために，学級会で使用している「賛成」カードを一人一枚持たせ，最も良いと思うところに貼らせる。(授業の黒板写真参照)
- ・「賛成」カードが多い所や，散らばり具合から，気づいたことや考えたことを出し合わせ，自分達の学級の「目ざす すがた」の達成を意識させる。

(例) はきはき話す，笑顔，さいごまでよく聞く，うなずいて聞く，話す人に体をむける(聞く人もおなじ)，メモをする，人の意見をひていしない

2 「知りたいことを考えて，しつもんしよう」についての説明を聞いて，学習の見通しをもつ。

○ 「話し手」，「聞き手」，質問の仕方についての教師の説明を聞く。

- ・「…何を話すか，考えました。」(挿絵で指示)
- ・「聞き終わってから，もっとお話のことで知りたい人は，質問をして下さい。」(挿絵で指示)
- ・教師のお話を聞く。

(例文 教科書 P42 を使用)

「わたしが大切にしているのは，家でかっているクマノミです。…略…」

- ・質問の例を伝える。(教科書 P42 を使用)

㊦ 「クマノミには，名前をつけていますか。」

㊧ 「はい。プクンという名前です。」

㊨ 「どんなふうにあさを食べるのですか。」

㊩ 「…水面に上がってきて…略…」

- ・『しつもんタイム』をとる。
- ・質問の仕方について気づいたことを出し合う。

○ 学習計画によって教科書 P40 を提示し，国語の具体的な学習に入ることを知らせる。

- ・教師が，教科書の内容に沿って例を具体的に示し，児童の関心を高めて学習の見通しをもたせる。
- ・実際の授業では，TTで行った。教師が，「話し手」(T2)と「聞き手」(T1)になって演じることで臨場感が増し，児童の関心を一気に高めることができた。「話し手」(T2)の教師は，話の筋は，教科書に合わせ，自分が飼っているペットについて話した。

- ・「聞き手」(T1)は，教科書 P42 の質問の例に沿って「話し手」(T2)に質問して例を示し，児童にも『しつもんタイム』を設けて取り組ませた。そこで出された質問を整理して，第4時で学習する質問の種類(P41)の伏線とした。

3 学習を振り返り，まとめをする。

- 次回から，友達に知らせたいことを話し，もっと知りたいことを質問し合う学習に入ること知らせ，その「話す・聞く」学習から「すてきな 3 年生」を目指すことを確かめて学習をまとめる。

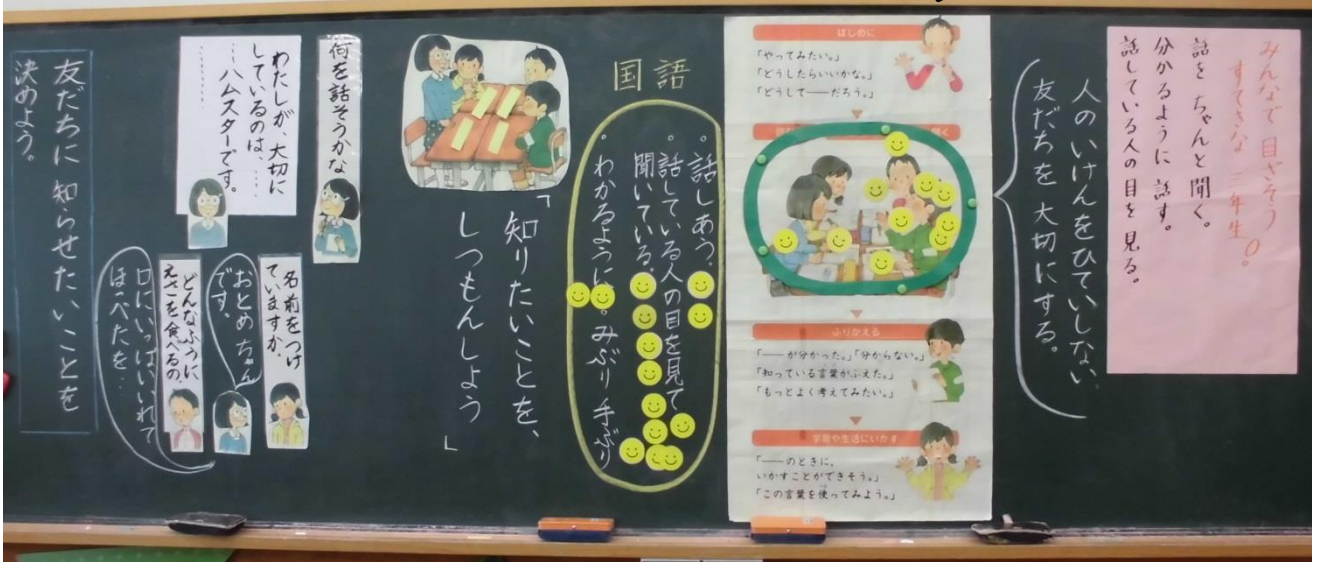
- 本時の学習内容を振り返り，友達と笑顔でうなずいたり，聞いたりできたことを称賛する。

- 次時は，友達に話したいことを決めることを知らせて，意欲を高める。



「目ざす すがた」の話し合い中

実際の授業の板書



■ 後記

- 第1時～2時で、特別活動の要素を取り入れて授業を行った。

学年のスタートの時期に「学ぶこと」と「生活すること」を学年で揃えることをねらったことと、学級経営の軸となる人間関係づくりの言語的要素の支えが、国語科に大きな役割としてあることを、私たち教師が意識し、年間を通して、実践して子どもたちを育てていくことを指標として定めたことによる。
- 各時間、学習のめあてを達成するために、十分に児童の考えを聞き、ワークシートを活用した。

また、児童が自分の書いていることを基に、「話すこと」について、教師に相談したり、「しつもんする」について、アイデアを話し合ったりしたことが、「主体的な学び」を引き出すことにつながったと考える。児童が発言する場を必ず設定したことと、課題意識のつながりがあったことで毎時間の発表者が増えていき、発表内容も深まっていたことが「対話的で深い学び」につながったと考える。
- 3年生なりに、自分の考えをもたせるということが大切である。第7時では、「ふりかえり」で、教科書P43の3つの項目について時間をかけて、児童に大いに語らせた。聞き手側の態度ができると、話し手も安心して、どんどん話せるようになった。肯定的で受容的な態度が国語に限らず、どの学習でも見られるようになり、「めざそう すてきな3年生」の実現に向けて確実に進むことができていた。
- この単元で、特別活動とのコラボで「話す・聞く」を学習し、「めざす すがた」と位置付けたことで、担任は、年間を通して、どの教科学習でも、生活場面でも、「話す・聞く」「書く」活動について、児童に一貫して温かく肯定的な指導や支援をすることができ、令和2年度の児童は、落ち着きがあり、互いへの思いやりがある学年に育った。

令和3年度の今年は、4月の第2週から意図的、計画的にスタートさせ、意欲があり、笑顔がステキな児童との「話す・聞く」学習を展開することができた。
- 単元の学習の始まりのころのアンケートでは、「話すことが楽しそう」が90%と人気で、「しつもんが楽しそう」は10%と、質問がピンとこなかった児童が多かった。しかし、第7時間目のアンケート「話すことと、質問することでは、どちらが楽しいですか。」の項目では、「質問の方が楽しい」という児童が80%になった。
- 評価の蓄積ができ、授業の改善につながった。ワークシートと自己評価を書いて学習に活かすことで、児童はポイントをつかんで書くことができるようになり、また、教師は学級の個々の児童の理解度と達成状況や満足度等を課題に応じて把握することができるようになって、相乗効果が顕著に表れた。

使用したワークシート「知らせたいこと」「しつもんカード」「ふりかえり」

友だちに知らせたいこと 5/22

3 3年1組 徹

知らせたいこと

・友だちのお家で犬を飼っていること。

ようす

・ 茶色

・ ふわふわ

・ 中くらい

・ 走っているとかがかわいい

しつもんカード 3年1組 5/26

<p>(話す友だちの名前)</p> <p>かきかたのれい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名前 ・ 何びきかっているのか。 ・ どのくらいの大きさなのか。 ・ いつからかっているのか。 ・ どのよりに えさを 食べるのか。 	<p>()さん</p> <p>・ どこがかわいいですか。</p> <p>スピードはどれくらいですか。</p>
<p>()さん</p> <p>・ どれくらいの岩をのぼる人ですか。えさはなにを食べているか。</p>	<p>()さん</p>

しつもんカード 3年1組 () 5/26

<p>(話す友だちの名前)</p> <p>かきかたのれい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名前 ・ 何びきかっているのか。 ・ どのくらいの大きさなのか。 ・ いつからかっているのか。 ・ どのよりに えさを 食べるのか。 	<p>()さん</p> <p>・ 黒色はうすいですか。ゆひいであるところのくらい小さいですか。</p>
<p>()さん</p> <p>・ 何びきですか。はねはながいですか。どこでみつけましたか。すず虫はとぶとコ外に飛んでいるからならいすか。</p>	<p>()さん</p>

3年1組 ()

- ① しつもんするときに、どんな言葉を使いましたか。
ていねいなことは使いました。

- ② どんなことに気をつけて、しつもんをしましたか。
人が話している時はしっかり聞いて言う時は
いっばいしつもんします。

- ③ しつもんをする時、どんないいことがありますか。
あいてのこともわかってきて、はなしかがっ
じることです。ふだんはなせない人と話
せること。